

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設
指定管理者
指定期間
施設所管課

県民ホール（本館・芸術劇場）
公益財団法人神奈川芸術文化財団
H22. 4. 1 ～ H28. 3. 31
文化課（ ）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

本館・神奈川芸術劇場の一体運営により、本県における文化芸術の広域拠点として、施設の特徴に応じた多彩な作品を提供し、県民が文化芸術に親しむ機会の充実を図るとともに、周辺地域と連携し、地域の賑わいづくりに寄与する催し等を行った。また、積極的な外部資金の獲得や、効率的な運営に努め、良好な管理状況にあると認められることから、B判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認 通知日	確認方法			指導 等の 有無	備考（指導事項等）
			月 報 確 認	現 場 確 認	電 話 確 認		
10月	11月9日		○	○	○	無	10月6日（土）東京バレエ団「オネーギン」をモニタリング。 10月19日（金）「DEDICATED2012～IMAGE～」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
11月	12月10日		○	○	○	無	11月10日（土）「ネオ・オペラ マダムバタフライX」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
12月	1月10日		○	○	○	無	12月1日（土）「家康と桜」をモニタリング。 12月29日（土）「ファンタスティック・ガラコンサート2012」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
1月	2月8日		○	○	○	無	1月30日（水）「KAAT式らくごの会」業務は適切に実施されていた。
2月	3月8日		○	○	○	無	2月7日（木）「7 Fingers LOFT」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
3月	4月10日		○	○	○	無	3月22日（金）「隅田川二題」をモニタリング。 3月24日（日）「椿姫」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	<p>施設管理の実施方針 ア 一体運営について ＜提案内容の概要＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一体運営により「アートベルトエリア」を形成し、賑わいの創出と魅力ある地域づくりを行う。 ・一体運営により管理運営の効率化をはかる。顧客サービス向上とコスト削減の取組みとして、利用受付業務、チケットセンター業務、経理・庶務業務、広報・営業部門業務について、業務を統合・集中および延べ配置人数の低減等を行う。同一内容の業務に関しては、共通業務として一体的に委託する。 ・管理運営面において、清掃業務、受付案内業務、駐車場管理業務、保安警備業務等を共通委託する。両施設に共通する保守点検に関する業務もできる限り一体的に実施する。 ・収入増への取組みとして互いの駐車場を誘導しあい、利用者の利便性を高めるとともに利用増を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下半期には、事業面で両館が連携し横浜市の「Dance Dance Dance @YOKOHAMA2012」フェスティバルに参加協力した。本館からは、「東京バレエ団『オネーギン』」、芸術劇場からは、「KARAS『呼吸—透明のカー』」「DEDICATED2012～IMAGE～」公演が参加演目となった。 ・「第19回神奈川国際芸術フェスティバル」を開催し、特にウィーン国立歌劇場公演では、本館でモーツァルト「フィガロの結婚」を、芸術劇場では「小学生のための『魔笛』」を上演し、広い世代にわたる観客を対象とした多彩な内容の事業を展開し、芸術文化による賑わいの創出に取り組んだ。 ・下半期も、それぞれで開催される催しに互いのチラシを挟み込む等、公演告知の強化に取り組んだ。 ・公演後に立ち寄れる中華街等の飲食店を紹介するマップを両館統一で作成・配布し、観客へのサービス向上と地域の賑わいの創出に資する取り組みを行った。 ・利用受付業務において、両館で利用者に互いの施設や駐車場の案内を行ったり、備品の融通を行う等、利便性を高めた。 ・施設の維持管理業務、経理・庶務は、ホール課において一元的に行い効率化を図った。 ・チケットセンター業務を、本館の管理のもとに同一業者で行った。また、チケットセンターホームページの改良も実施し、情報発信の強化に取り組んだ。 ・清掃業務、受付案内業務、駐車場管理業務、保安警備業務、各種保守点検は、同一業者に委託し、効率化とコスト削減を図っている。 ・清掃業務、施設維持管理業務、保安警備業務について、本館と芸術劇場（合同施設）を一体的に受託する条件でプロポーザル方式の審査を行った。
2	<p>イ 適切な管理運営について ＜提案内容の概要＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスの向上への取組みとして、高い水準・実効性の確保、効率的作業、経費節減を業務実施の3大ポイントとして適切な管理運営を行う。 ・アンケート実施等を通して利用者ニーズの把握に努め、苦情原因の是正及びその予防に努める。 ・開館日や開館時間の柔軟な設定を行う。 ・駐車場利用の促進などを行う。 ・防犯、防災対策に取組み、安全対策を行う。 ・（本館）利用収入増への取組みとして、空き日状況のWEBサイトでの提供や、貸館に配慮した自主事業の配分、同一日内の複数利用などのきめ細やかな利用調整や積極的な営業などにより固定利用者を確保する。 	<p>【本館】 ＜実施状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下半期は「情報発信力の強化」と「快適な空間の創出」に重点をおいて、さらなるサービス向上に取り組んだ。「情報発信力の強化」として公式facebookも開始し、より機動力ある情報提供に努めた。「快適な空間の創出」については、清掃モニタリングを強化し、楽屋も、カーテンの張り替えやテーブルの修繕等を行い清潔で快適な空間創りに取り組んだ。 平成25年12月からの改修工事に伴う閉館期間の対応のため、利用者に対して案内の送付や利用者懇談会を実施しトラブルのないよう情報提供を行った。 上半期から継続して以下の取組みを実施。 ・ホームページへの「アーカイブ」と「お問い合わせ」コーナーの設置。 ・催物主催者向けに、開館時間15分前からの南玄関の開放。 ・階段での移動が困難な方への職員用エレベータを用いた上階席へのご案内。 ・利用案内、下見、事前問い合わせに対する丁寧な施設案内。 ・来館者及び利用者アンケートの常時実施。 ・主催公演における、託児サービスの実施。 ・幼児向けイベント等における仮設授乳室の設置。

		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の多い催物時に、認知症の方の迷子が増えているため、主催者、職員、委託業者の初動の連携を強化し、行方不明者の早期発見に努めるとともに、閉館時の館内残留者の確認も強化した。 ・防災訓練の強化、帰宅困難者対策における横浜市、中区との連携、防犯カメラシステムの更新、建物外周電灯の点灯時間延長（完全退館まで）等の安全対策を行った。 ・施設の維持管理においては、定期点検、保守点検ともに細やかで迅速な修繕、工事を実施し、文化ホールとしての快適な環境の維持を図った。 ・ホームページ上での空き日情報の掲載や、イベントやリピーターへのこまめな情報提供等営業活動を強化し、定期的利用、リピート利用を確保した。 ・空き日での練習利用の誘致、同日の複数利用、仕込み、準備のための前日夜区分のみの利用の受け入れを積極的に行っている。
		<p>【芸術劇場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館後3年目を迎え、設備・機構等の運転に関する点検については適切な頻度をもって実施している。また、委託業者やNHK横浜放送局との定期的なミーティングにより、情報共有に努め、施設利用状況に応じた設備点検計画、清掃計画等の作成と更新を行うことにより、より効率的な施設維持業務を行っている。 ・主催公演では必ず託児サービスのある公演日を設け、子育て世代のお客様にも気軽に公演を鑑賞いただけるよう、努めた。 ・利用者のニーズにあわせて、開館時間を早めるなど柔軟に対応している。また、年末(12月28日)の貸館公演にあわせて臨時開館を行った。 ・節電対策として、エスカレーターの起動時間を公演の開場にあわせて詳細に警備と相談し、調整している。 ・アマチュアの一般利用者には、劇場の特性を十分に説明し、利用の仕方を丁寧に説明している。また、複数回の下見や打合せにも出来る限り対応し、より丁寧な施設案内に取り組んでいる。 ・土日の駐車場利用料金を改訂し、収入増加に取り組んだ。 ・空き日を利用して、二年瑕疵是正工事等に対応し、施設維持における不具合等の解消に努めた。 <p>【本館・芸術劇場共通実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ対策として、館内の節電、LED化の促進等に取り組んでいる。 ・グリーン購入、ゴミ分別の強化も引き続き取り組んでいる。
3	<p>自主事業の実施方針</p> <p>本館、芸術劇場両館で、a) 良質な舞台芸術作品の創造・発信＝多彩な鑑賞機会の充実、b) 教育普及活動の充実による文化芸術への理解・関心の促進、c) 人材育成への積極的取組みによる文化芸術振興基盤の強化、d) 「賑わいの創出」による地域振興と地域経済への貢献、の4つを柱とした一体的な事業展開により、地域の文化芸術振興の促進を図る。</p> <p>両館共通の事業として、県民が直接参加する事業、地域の団体・個人の支援、共同で実施する「賑わいの創出」事業、多彩な事業を実現するための共催公演、提携公演等に取り組む。</p>	<p>【本館】</p> <p>〈実施状況〉</p> <p>○大ホール（主催事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京バレエ団「オネーギン」全3幕 <p>10月6日(土) 入場者数1,762人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファンタスティック・ガラコンサート2012 華麗なるオペラ&バレエ 貴族たちの悦楽 ～ヒロインたちのドラマティックな愛 <p>12月29日(土) 入場者数1,938人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県民ホール・びわ湖ホール・東京二期会・神奈川フィルハーモニー管弦楽団・京都市交響楽団共同制作 ヴェルディ生誕200年記念 歌劇「椿姫」全3幕 <p>3月23日(土) 入場者数1,610人</p> <p>3月24日(日) 入場者数1,504人</p>

【本館】

<提案内容の概要>

本館の事業実施においては、一柳慧芸術総監督の指導のもと、県民の期待と共感を得られる事業を立案し、多様なニーズに応え、神奈川ならではの文化芸術振興を総合的に図っていく。大ホールでは、「神奈川国際芸術フェスティバル」と年間プログラムにおいて、本格的な舞台機構を活かした国内外の一流のオペラ、バレエ、大編成オーケストラ公演等の大型の舞台芸術の上演に重点を置いて実施する。小ホールでは、パイプオルガンを活用した事業や客席とステージが近いホールの特性を活かした室内楽公演、観客拡大や芸術普及のための講座事業等を実施する。ギャラリーでは、現代美術等の展示企画及び幅広い県民参加を中心とする神奈川県美術展等を実施する。

○小ホール（主催事業）

- ・パイプオルガン・プロムナード・コンサート
- Vol. 319 11月16日(金)入場者数280人、
- Vol. 320 12月 7日(金)入場者数270人、
- Vol. 321 1月18日(金)入場者数310人、
- Vol. 322 2月 8日(金)入場者数280人、
- Vol. 323 3月29日(金)入場者数550人、
(客席内400人、ロビー鑑賞150人)
- ・パイプオルガン・クリスマスコンサート2012～聖夜にみる夢～
- 12月22日(土) 入場者数394人
- ・第85回舞台芸術講座「チェンバロの魅力ーはじかれた弦の美しさー」
- 1月12日(土) 入場者数313人
- ・早島万紀子パイプオルガン・リサイタル～フーガの芸術 宇宙を駆けめぐる音楽～
- 2月16日(土) 入場者数333人
- ・第86回舞台芸術講座 青島広志のたのしい名作オペラ講座 歌劇『椿姫』の魅力
- 3月2日(土) 入場者数389人

○ギャラリー（主催事業）

- ・さわひらき Whirl
- 10月23日(火)～11月24日(土)入場者数3,347人

【芸術劇場】

<提案内容の概要>

モノを「つくる」、人を「つくる」、まちを「つくる」という三つの「つくる」をミッションとする創造型劇場として、芸術監督による企画・演出作品をはじめ、国内の優れたアーティストを起用した主催公演や、気鋭のカンパニーとの提携による新作公演などを実施すると共に、制作会社や大手プロモーターとのネットワークによる貸館公演等、多彩で魅力的なプログラムを実施する。また、本館との一体運営による総合的な事業、インターンシップの受け入れによる人材育成普及事業の実施を通してミッションの実現を図る。

a) 芸術文化創造事業として、芸術監督の演出若しくは企画による作品の制作などの企画事業と、制作会社や興行会社とのネットワークにより多彩で魅力的なプログラムを実施する提携事業の2本柱で展開。

b) 隣接する本館との一体運営による総合的事業の実施と管理運営の効率化。

c) 人材育成普及事業として、舞台芸術を支える人材を育成するインターンシップの受入れと指導などを実施。

【芸術劇場】

- ・三つの「つくる」（モノを「つくる」、人を「つくる」、まちを「つくる」）をテーマとして掲げ、
- ①全国トップクラスの設備と人材を有する創造発信型の劇場として、芸術監督による企画・演出作品や、国内外の優れたアーティストによる主催公演、
- ②新進・気鋭のカンパニーとの提携公演、③制作会社や大手プロモーターとのネットワークによる貸館公演、など年間を通して多彩で魅力的なプログラムを展開している。
- また、学生を始めとするインターンシップの受け入れや、舞台技術課スタッフによる舞台技術ワークショップの実施などにより人材育成事業についても積極的に実施している。
- さらに、山下町、元町、中華街などの地元住民や企業といった「まち」との連携についても、良好な関係を築きながら事業を展開している。

●ホール

○主催事業

- ・第19回神奈川国際芸術フェスティバル テーマシンポジウム「オペラ！/?～ネクストジェネレーションへの試み/から」10月7日(日)入場者数232人
- ・「DEDICATED2012～IMAGE～」10月19日(金)～21日(日)入場者数1,808人
- ・第19回神奈川国際芸術フェスティバル ネオ・オペラ マダムバタフライX～プッチーニのオペラ「蝶々夫人」より～ 11月10日(土)～18日(日)入場者数2,726人
- ・モンゴル国立馬頭琴オーケストラ×竹下景子「白い馬の物語」11月23日(金・祝)入場者数603人
- ・「家康と按針」12月1日(土)～2日(日)入場者数1,683人
- ・KAAT舞台技術ワークショップ「創作を支える舞台技術2013」一部(実技)「舞台技術を体験する」3日間連続プログラム1月29日(火)～31日(木)参加者数33人

・KAAT舞台技術ワークショップ「創作を支える舞台技術2013」 二部(講義)「創作を支える舞台技術—高所作業」 2月1日(金)参加者数73人

・TPAM in Yokohama2013 宮永琢生ディレクション 杉原邦生「1/2PAナイッ!?(はんばない) 2月13日(水)～14日(木)入場者数384人

・TPAM in Yokohama2013 インターナショナル・ショーケース モー・ル・プラデック 「Professor」 2月16日(土)入場者数245人

・TPAM in Yokohama2013 小倉由佳子ディレクション ナデガタインスタントパーティー「エキストラ・カーテンコール」 2月17日(日)入場者数340人

・「隅田川二題」～オペラ「カーリユー・リヴェー」／日本舞踊「清元 隅田川」～ 3月22日(金)～23日(土)入場者数1,284人

○提携事業

・ミュージカル「葉っぱのフレディ」 10月6日(土)入場者数1,565人

・森山直太郎 劇場公演「とある物語」 10月13日(土)～14日(日)入場者数1,468人

・第19回神奈川国際芸術フェスティバル ウィーン 国立歌劇場 小学生のためのオペラ「魔笛」 10月26日(金)入場者数2,305人

・岸恵子&仲道郁代「パリのおばあさんの物語」 11月24日(土)入場者数1,060人

・Noism1&Noism2「中国の不思議な役人／solo for 2」 12月25日(火)～26日(水)入場者数765人

●大スタジオ

○主催事業

・「KAAT式らくごの会」～文学しぼり～ 1月30日(水)入場者数406人

・TPAMディレクションPlus 岡田利規×ピッグアイロン・シアターカンパニー「ゼロコストハウス」 2月11日(月)～13日(水)入場者数802人

・TPAM in Yokohama2013 大平勝弘ディレクション 村川拓也「ツァイトゲーバー」 2月15日(金)～16日(土)入場者数256人

・TPAM in Yokohama2013 大平勝弘ディレクション 大橋可也「WAGASHI- my master, my words, my death, my will」 2月15日(金)～16日(土)入場者数256人

・TPAM in Yokohama2013 インターナショナル・ショーケース ダニエル・コック「Q&A」 2月17日(日)入場者数158人

・地点「駈込ミ訴へ」「トカトントンと」 3月7日(木)～26日(火)入場者数1,345人(「駈込ミ訴へ」832人(9回)、「トカトントンと」513人(6回))

○提携事業

・F/T12「光のない。」 稽古場公開&トーク 11月4日(日)入場者数45人

・モダンスイマーズ「楽園」 12月7日(金)～8日(土)入場者数301人

●中・小スタジオ

○主催事業

- ・TPAMディレクションPlus「Rules and Regs with ST Spot」2月9日(土)～10日(日)入場者数106人
- ・TPAM in Yokohama2013 インターナショナル・ショーケース 青年団国際演劇交流プロジェクト2012/フィリップ・ケーン企画/ヴィヴァリウム・ステュディオ「Anamorphosis アナモルフォーシス」2月13日(水)入場者数210人
- ・TPAM in Yokohama2013 小倉由佳子ディレクション きたまり/KIKIKIKIKIKI『戯舞』2月15日(金)～16日(土)入場者数217人
- ・TPAM in Yokohama2013 小倉由佳子ディレクション 劇団子供鉅人「Where is crocodile?」2月15日(金)～16日(土)入場者数217人

●アトリエ

○主催事業

- 「劇団地点による演技者のためのワークショップ」3月27日(水)入場者数32人

●その他(複数施設、アトリウム内外、野外プログラムなど)

○主催事業

- ・KAAT舞台芸術講座「隅田川二題」関連企画《連続講座》「ふたつの隅田川」入場者数 第1回 1月13日(日)57人(中小スタジオ)、第2回 2月8日(金)72人(大スタジオ)、第3回 2月24日(日)53人(中小スタジオ)、第4回 3月2日(土)86人(中小スタジオ)
- ・「KAAT神奈川芸術劇場オープンシアター2012/クイーンズスクエア横浜イベント」2月3日(日)入場者数1,200人(クイーンズスクエア横浜)
- ・TPAM in Yokohama2013 大平勝弘ディレクション 篠田千明「ぼやっとする(まぬけ)」2月15日(金)～16日(土)入場者数161人(スタジオローディング)
- ・TPAMディレクションPlus「DANCE TRUCK PROJECT vol.2」2月16日(土)入場者数70人(アトリウム外)

●地域等連携事業

- ・「地点新作公演 出演者オーディション」3月22日(金)、3月28日(木)参加者数37人(22日ミューザ川崎市民交流室、28日アトリエ)

●企画制作事業

- ・「親指こぞうーブケッティーン」3月16日(土)～17日(日)入場者数200人(ムーブホール町屋)、3月22日(金)～24日(日)入場者数250人(つくばカピオホール・特設ステージ)

●人材育成事業 インターンシップの受け入れ
1月21日(月)～3月31日(日) 劇場運営6名、舞台技術8名が参加。

●受託事業 マグカル・フェスティバル

- ・「マグカル・オープニングトーク」2月2日(土)入場者数718人(ホール)
- ・7Fingers「ミニパフォーマンス」2月2日(土)入場者数400人(アトリウム)
- ・7Fingers「LOFT」PRパフォーマンス 2月3日(日)入場者数800人(クイーンズスクエア横浜、横浜赤レンガ倉庫)
- ・7Fingers「LOFT」2月7日(木)～10日(日)入場者数3,189人(ホール)

<p>3</p>	<p>事業の収支バランスの安定を図る取組みについて <提案内容の概要> a) 収支バランスの基本的考え方を定める取組み、 b) 指定管理料以外の収入確保の取組み、 c) 広報宣伝・営業の強化、 d) 外部資金獲得への取組みを図る。</p>	<p>〈実施状況〉 広報宣伝・営業、チケット販売等の強化により事業収入の確保に努めた。さらに、外部資金の獲得にも努め、収支バランスの安定を図った。 ■平成24年度外部資金獲得実績 1. 法人賛助6,450千円、個人賛助240千円、その他企業協賛金等2,985千円。 ※財団全体での年間実績 2. 助成金 計104,673千円 ・芸術文化振興基金2,800千円(さわひらき展、KAATキッズ・プログラム) ・財団法人地域創造4,500千円(モンゴル国立馬頭琴オーケストラ×竹下景子「白い馬の物語」) ・ロームミュージックファンデーション900千円/朝日新聞文化財団300千円/五島記念文化財団1,000千円(オペラ「ハーメルンの笛吹き男」) ・アサヒビル芸術文化財団300千円(さわひらき展) ・三菱UFJ信託芸術文化財団600千円、3,000千円(賞金)※ ・横浜アーツフェスティバル13,000千円(オネギン、Dedicated2012) ・文化庁「優れた劇場からの創造発信事業」(重点支援劇場・音楽堂)38,473千円 ・文化庁「優れた劇場からの創造発信事業」(共同制作公演)39,800千円(びわ湖ホールとともに採択。記載は採択額の2分の1) ※助成金獲得実績は年間での実績</p>
----------	--	--

4 収支状況

(単位：千円)

【本館】		収入額			支出額	収支差額	
		指定管理料	利用料金	その他収入			収入合計
募集時の積算額 (参考)		583,000	245,000	81,772	909,772	909,772	0
予算額	前年度	583,000	245,000	89,414	917,414	917,414	0
	上半期	237,763	123,500	20,695	381,958	381,958	0
	下半期	345,237	121,500	68,719	535,456	535,456	0
	今年度	587,516	245,000	91,774	924,290	924,290	0
	上半期	236,455	122,502	14,328	373,285	389,447	▲ 16,162
	下半期	351,061	122,498	77,446	551,005	534,843	16,162
下半期実績額	10月	42,828	19,520	26,410	88,758	94,814	▲ 6,056
	11月	61,837	24,242	6,038	92,117	82,207	9,910
	12月	68,655	24,143	17,226	110,024	88,303	21,721
	1月	38,765	12,072	4,005	54,842	70,718	▲ 15,876
	2月	45,208	19,088	1,659	65,955	61,608	4,347
	3月	93,768	18,080	196,081	307,929	355,514	▲ 47,585
	今年度 下半期合計	351,061	117,145	251,419	719,625	753,164	▲ 33,539
	前年度 下半期合計	345,237	122,921	141,853	610,011	642,918	▲ 32,907
	対前年度下半期比			③	18.0%	17.1%	
参考	今年度 上半期合計	236,455	135,131	10,932	382,518	348,972	33,546
	今年度 合計	587,516	252,276	262,351	1,102,143	1,102,136	7

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

(単位：千円)

【芸術劇場】		収入額			支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入		
募集時の積算額 (参考)		609,000	159,000	268,491	1,036,491	0
予算額	前年度	619,161	147,000	315,965	1,082,126	0
	上半期	343,452	62,500	238,058	644,010	0
	下半期	275,709	84,500	77,907	438,116	0
	今年度	607,969	95,787	199,012	902,768	0
	上半期	291,182	47,886	11,068	350,136	▲ 83,188
	下半期	316,787	47,901	187,944	552,632	83,188
下半期実績額	10月	37,376	4,013	11,204	52,593	▲ 10,567
	11月	39,895	4,889	44,285	89,069	37,008
	12月	73,317	13,682	6,117	93,116	16,814
	1月	48,930	3,774	40,777	93,481	7,850
	2月	46,173	3,429	10,084	59,686	15,266
	3月	71,096	10,443	89,624	171,163	▲ 113,063
	今年度 下半期合計	316,787	40,230	202,091	559,108	▲ 46,692
	前年度 下半期合計	275,709	57,735	203,051	536,495	▲ 182,051
	対前年度下半期比			③	4.2%	-15.7%
参考	今年度 上半期合計	291,182	36,740	9,844	337,766	46,671
	今年度 合計	607,969	76,970	211,935	896,874	▲ 21

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：100万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期		
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

		利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	本館	37,205 人	75,007 人	▲ 50.4 %
	芸術劇場	14,821 人	16,433 人	▲ 9.8 %
11月	本館	60,461 人	70,421 人	▲ 14.1 %
	芸術劇場	13,319 人	15,715 人	▲ 15.2 %
12月	本館	71,995 人	71,887 人	0.2 %
	芸術劇場	18,205 人	27,900 人	▲ 34.8 %
1月	本館	25,834 人	33,589 人	▲ 23.1 %
	芸術劇場	3,245 人	6,889 人	▲ 52.9 %
2月	本館	58,053 人	44,934 人	29.2 %
	芸術劇場	12,466 人	8,634 人	44.4 %
3月	本館	54,847 人	40,537 人	35.3 %
	芸術劇場	17,140 人	16,733 人	2.4 %

		目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	本館	— 人	357,321 人	306,646 人	— %	16.6 %
	芸術劇場	— 人	72,291 人	105,043 人	— %	▲ 31.2 %
今年度下半期計	本館	— 人	308,395 人	336,375 人	— %	▲ 8.4 %
	芸術劇場	— 人	79,196 人	92,304 人	— %	▲ 14.3 %
今年度合計	本館	645,000 人	665,716 人	643,021 人	3.3 %	3.6 %
今年度合計	芸術劇場	181,422 人	151,487 人	197,347 人	▲ 16.6 %	▲ 23.3 %

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	<p>【本館】 ・階段がきつい、エレベーター・エスカレーターの設置、施設のバリアフリー化の要望</p>	<p>大ホールの上層の客席に行くエレベーターがないことにより、かねてよりお客様からエレベーター設置希望が出ていることへの改善策として、業務用エレベーターでの案内を行っているが、より多くのお客様にご利用いただけるよう、エレベーター停留所による案内方式（2階ロビーと上層階にエレベーター案内をお待ちいただく案内掲示を設置し、適宜業務用エレベーターによる案内をする方法）を4月に試行した。5月より、主催者との打合せの上、積極的に運用しており、公演によっては案内数が倍増している。今後、公演によって案内スタッフを増員する等、状況に応じた対応していく。 (例：実績：24年3月のエレベーター利用67組に対し、25年3月は103組)</p>
	<p>【芸術劇場】 8階アトリエの音漏れがうるさい。</p>	<p>大勢の利用者が窓を全開にして歌稽古していたため、閉めるよう申し入れた。</p>
	<p>【芸術劇場】 大スタジオのトイレが、階段をあがらないと利用できない。</p>	<p>高齢や足が悪いお客様には、5階ホワイエのみんなのトイレもご案内している。</p>
	<p>【芸術劇場】 トイレ、コインロッカーが少ない。（9件）</p>	<p>案内係がこまめに空いたトイレを案内している。また、ロッカーに入りきらない荷物も個別でクロックでお預かりしている。</p>
	<p>【芸術劇場】 会場への導線がわかりづらい。（2件）</p>	<p>ホワイエの構造が難しいため、メインロビーやアトリウム3Fにも案内係を増やした。各フロアの案内係が丁寧に対応している。</p>
	<p>【芸術劇場】 飲食施設が少ない。</p>	<p>改装中であった1Fレストランとスタンドカフェが3月にリニューアルオープンし、そちらもご案内している。</p>
職員対応	<p>【芸術劇場】 終演後、アンケートを書いているのに追い立てられるようにロビーへ出された。</p>	<p>公演後の余韻も楽しめるように、お客様に配慮した対応をするよう案内係に指導した。</p>
事業内容	<p>【芸術劇場】 公演日程を土日にしてほしい。</p>	<p>平日に1日のみ開催した「KAAT式らくごの会」のお客様より。今後の事業計画において検討していく。</p>
その他	<p>【芸術劇場】 KAATのホームページが重くて見づらい。</p>	<p>25年4月にHPを全面リニューアルし、改善した。</p>

8 事故や不祥事等の発生状況

【本館】

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
3月3日(日)	警備員が外周の巡回を行っていたところ、第2駐車場精算機の釣り銭取り出し口が壊されているのを発見した。精算機を確認したところ、紙幣投入口付近および内部現金保管庫辺りが破損していたが、精算機内の紙幣、硬貨は盗まれていなかった。	現場確認後、加賀町警察及び業者へ連絡し、現場検証及び監視モニターの犯行映像の確認等記録映像の検証ならびに被害届作成を行なった。警察の現場検証等終了後、業者が破損した精算機の点検を行い、破損箇所の部品交換が終了した。	今後の対応としては、神奈川芸術劇場の警備夜勤者が行う1時間に1回の夜間巡回に県民ホール本館の第2駐車場精算機の確認を加えて警備体制を強化するとともに、精算機付近に照明を設置し、防犯対策を行うこととした。

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

【本館】

○県内最大規模の文化施設として、県民からの認知度も高く、子どもから高齢者まで年間約66万人を超える利用者が来館する大規模施設である。一方で開館から37年が経過して施設・設備の老朽化による課題もあるが、引き続き様々な利用者からのニーズに対応するきめ細やかな対応を図り、事故防止と快適な利用環境の提供に努められたい。

○事業面では、グランドバレエ、フルオーケストラ、グランドオペラの公演などに加えて、他の文化施設と共同で新作オペラを制作する等、質の高い作品の提供にも取り組んでおり、引き続き多彩な事業の展開に努め、文化芸術に親しむ機会の拡充に努められたい。

○防災対策として、防災訓練の強化や帰宅困難者対策への取り組みを行っているが、引き続き今後も更なる防災への取り組みを進められたい。

○補助金や協賛金など、積極的な外部資金の獲得を図っているが、今後もより一層の取り組みに努められたい。

【芸術劇場】

○演劇やミュージカル、ダンスやパフォーマンスなど、多彩な事業を展開するとともに、古典芸能とオペラなど、ジャンルの異なる舞台芸術をコラボレーションさせたオリジナル作品を創造し、神奈川の文化芸術の発展に寄与した。また、託児サービスの充実や、平日昼間公演など、サービスの充実にも努めている。引き続き、創造型劇場として優れた舞台芸術作品の創造・発信し、文化芸術に親しむ機会の充実に努められたい。

○地域の賑わいを創出するため、KAFE9やマグカル事業の一環としてアートサーカス等の催しや国際舞台芸術ミーティング(TPAM in Yokohama)の開催を周辺地域と連携して実施したが、今後も、地域の施設や関係団体と積極的に連携し、賑わいづくりに取り組まれたい。

○インターンシップの受け入れや、舞台技術課スタッフによる舞台技術ワークショップの実施など、年間を通して人材育成を行っているが、引き続き次世代の文化芸術を支える人材育成に努められたい。

○SNSや、各公演ごとの特設ホームページを設けるなど、インターネットでの広報を充実することに加え、企画制作した公演を他文化施設で実施するなど、事業を拡大することで、創造型劇場としての認知度向上を図っているが、引き続き、利用者及び利用料金収入の向上に努められたい。